

Subject: [oshiekata-himeji:00053] 【はじめての特別支援ナビ_08】

From: 許 鍾萬 <ho@hkg.odn.ne.jp>

Date: 2018/04/04 20:54

To: oshiekata-himeji@toskansai.jp

★教え方セミナー姫路 公式HP

<https://oshiekata-himeji.jimdo.com/>

↑ はじめてナビをPDFで随時アップ中！

=====

TOSS教え方セミナー姫路会場
事務局の許鍾萬です。

【はじめての特別支援ナビ】 第8弾です。

いくつかのトピックに分けて紹介します。
ご自身のスタイルにあったトピックを選んで
一緒に学びませんか。
もちろん、全部やる！もオススメです。
時間にゆとりのある春休みですから。

=====

■ Topic 1 サンプル映像を視聴して学ぼう！

このトピックでは、スマホやパソコンで
すぐに見られる映像資料を紹介します。
下のリンクから「サンプル動画を見る」を
クリックしてお楽しみください。
第8弾は、こちらです。

↓

『シリーズ おしえて!谷先生 (24)
「発達障害の子にも対応 一斉授業の法則(後編)」』
(玉川大学教職大学院教授 谷和樹先生による映像)

http://m.tos-land.net/products/detail.php?product_id=285

特別支援学級であっても
通常学級であっても
授業の原理原則は大きく変わりません。
昨年度、1年～6年までの児童6人を
同じ時間に一斉授業していました。
学年も、教科も、特性も違う6人です。
「力のある教材教具」と「授業の原理原則」を
組み合わせれば、一斉授業が可能になります。
(詳しくは、4/8のセミナーの講座で)

指示を聞き返す子、
授業に集中できない子、
不規則発言をしてしまう子…
さまざまな子供がいる教室で
一斉授業を成立させる原則を、
具体例を含め、谷先生がレクチャーするのが
この映像シリーズです。

(前編の目次)

- ・発達障害をかかえる子供たちへの指導
- ・「授業の原則十か条」の有効性
- ・指示の種類
- ・ワーキングメモリの問題
- ・指示をどのくらい短くするのか。
- ・子供の不規則発言への対応
- ・机間巡視のやり方
- ・全校集会で話す時
- ・理科の自由思考…等

(後編の目次)

- ・プロの基本条件
- ・再現する力
- ・作業の遅い子どもにも優しい作業指示の出し方
- ・出てくる空白を予測する
- ・係り活動を活性化するコツ
- ・授業における確認のバリエーション
- ・子供たちがやる気になる個別評定の仕方
- ・個別評定の次のパターン
- ・褒め言葉の種類…等

密度の濃い内容です。
新年度を迎える前に、ぜひご覧ください!

■ Topic 2 そうだ！読書しよう！オススメ本紹介

このトピックでは、春休みのうちに読んでおきたい
特別支援教育に関する本を紹介します。
オススメの書籍、第8弾はこれです。



『発達障害の治療法がよくわかる本』
監修：宮尾 益知（講談社）

<http://bookclub.kodansha.co.jp/product?isbn=9784062594424>

このシリーズ、わかりやすいものが多いです。
特別支援教育の入門書として、

ちょっとした辞書がわりに使えます。
基本的なポイントがビジュアルに
書かれているので短時間で読めます。
支援員さんとの打ち合わせや、
校内の会議で読み合わせていました。

はじめて特別支援学級を持たれる方、
はじめて交流学級を持たれる方は
ぜひ持っておくといい本だと思います。

薬物治療についても
詳しい解説が書いてあるので
ケース会議や面談の前にも重宝します。

■ Topic 3 仕事が3倍速くなる！ノート作りLIVE

このトピックでは、
特別支援学級担任の実務をささえる
「ノートづくり」を発信していきます。
通常学級と同じように、特別支援学級の担任になっても
「黄金の三日間（出会いからの三日間）」があります。
そのためのノートを作ることが大切です。

ノートづくりの、第8弾はこれ。



『 特別支援教育だより を作ろう 』

学校全体で特別支援教育を推進していくことは
とても重要なことです。
特別支援学級だけにとどまらず、
学校全体が変わっていかねば
支援を要する子供たちは救われません。

前任校では、「特別支援教育だより」を
不定期で発行していました。
誰に言われるのでもなく、
役立つ情報を自由に発信していました。
レターボックスに資料を配布していました。
概ね好評でした。

中でも4月のこの時期の資料は人気でした。
これです。

=====
平成23年度 独立行政法人教員研修センター選定
教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

「特別支援教育の考え方を取り入れた
現場往還型による授業力向上プログラム」

みんなの特別支援教育
～ 授業のユニバーサルデザイン化をめざして ～

関西国際大学
兵庫県尼崎市教育委員会

平成24年度、尼崎市内の教員に配布された冊子を
PDFにしたものです。
ダウンロードできます。



<http://www.ama-net.ed.jp/docs/h24minatokusi.pdf>

特に、13ページと14ページ。

タイトルは

『 学年初めの3日間を大切に 』 です。
この時期、何が大切で、何を優先させるといいのか
具体的な例で示されています。
ユニバーサルデザインの学級づくりは
現在のスタンダードです。
どの学校、どのクラスでも
取り組まなければなりません。
次期学習指導要領でも「学習の困難さ」が
各教科で、全面的に取り上げられています。
私も明日の職員会議で紹介する予定です。

(つづく)

役立つ情報も本MLで
少しずつ紹介していきます。
お近くの先生にも、ぜひご紹介ください。

★教え方セミナー姫路 公式HP
<https://oshiekata-himeji.jimdo.com/>
↑ はじめてナビをPDFで随時アップ中！
MLに発信したバックナンバーを
PDFでダウンロードできます。
どうぞご活用ください。

--

許 鍾萬
TOSS関西中央事務局
ho.jyongman@toss2.com
ho@hkg.odn.ne.jp
兵庫県姫路市立英賀保小学校教員

ho_jonman@himeji-hyg.ed.jp

TOSSオフィシャルサイト

<http://www.toss.or.jp/>